

報告事項

報告 (1) 会員数等報告

個人会員数 (2019.4.1 現在)

No.	名 称	学術	正 (法)	賛 (法)	正	賛助	合計	増減
1	福井県コンクリート診断士会	6			144	4	154	6
2	鳥取県コンクリート診断士会	2			53	0	55	5
3	島根県コンクリート診断士会	1			89	0	90	2
4	東京コンクリート診断士会	3	23	9	154	3	192	-6
5	NPO 法人 石川県コンクリート診断士会	0			101	6	107	4
6	NPO 法人 大分県コンクリート診断士会	3	1	0	77	0	81	2
7	青森県コンクリート診断士会	2	1	0	52	0	55	0
8	静岡コンクリート診断士会	0			77	0	77	1
9	京滋コンクリート診断士会	0	1	0	20	1	22	1
10	高知県コンクリート診断士会	3			45	0	48	2
11	新潟県コンクリート診断士会	2			113	5	120	-9
12	長野県コンクリート診断士会	4	1	1	61	7	74	3
13	北海道コンクリート診断士会	0	4	1	115	5	125	2
14	東海コンクリート診断士会	1	0	3	103	24	131	15
15	広島県コンクリート診断士会	2			87	0	89	0
16	宮崎県コンクリート診断士会	1			47	48	96	2
18	富山県コンクリート診断士会	0			55	15	70	4
19	宮城県コンクリート診断士会	0			12	0	12	0
20	(一社)熊本県コンクリート診断士会	5			53	0	58	7
21	岡山県コンクリート診断士会	3			76	4	83	83
22	直接入会会員		2	0	7	1	10	1
合計		38	33	14	1541	123	1749	124

地区の会からの登録会員数： 1739 名(=学 38+正 1565+賛 136)

学術・正会員数： 1612 名(=38+33+1541)

法人会員数 (2019.4.1 現在)

No.	法人会員 R	会員数	法人枠登録個人会員	
			正会員	賛助
1	ランク SA	0	0	0
2	ランク A	15	14	6
3	ランク B	9	6	2
4	ランク C	58	13	6
	合計	82	33	14



JCD に加盟している地区診断士会

報告 (2) 参加委員会活動報告

1. 2018 年度サステナビリティ委員会・サステナビリティフォーラム活動報告

2018 年度のサステナビリティフォーラムの活動の概要（委員会開催月日+主な議題他）を以下に示す。

(1) 第 35 回サステナビリティフォーラム委員会 2018 年 6 月 27 日

議題とその概要を下記に示す。

①自己紹介

②前回議事録（案）の確認

③コンクリートサステナビリティに関する第 7 回シンポジウムの開催

④コンクリート工学誌「講座」企画 II

資料に基づき、堺議長により、2018 年 10～12 月号の講座「コンクリート関連産業の JIS Q 13315-2 に基づく環境負荷インベントリデータの算定」の概要の説明がなされ、以下の議論がなされた。

- ✓ 各階の執筆責任者は、第 1 回目：堺議長、第 2 回目：高橋茂委員、第 3 回目：藤本聡史・宇都宮大学准教授であり、各執筆責任者は原稿の分担・取纏めを行うとともに、各回の冒頭部分を記載する。
- ✓ 骨材製造（吉田委員）に関しては、第 2 回目から第 3 回目に移動する可能性が高く、高橋委員は藤本准教授にコンタクトを取る。
- ✓ 第 3 回目からは、再生骨材製造および評価ツールは削除する。
- ✓ JIS 中の図をそのまま利用する場合には、執筆者は日本規格協会にコンタクトし、使用許諾をとる。修正した図を用いる場合には、使用許諾は必要ないので、各業界で一つ修正した図（シンポジウム）を用いることとする。）

⑤環境に関わる日経新聞記事

(2) 第 36 回サステナビリティフォーラム委員会 2018 年 9 月 13 日

議題とその概要を下記に示す。

①前回議事録（案）の確認

②コンクリートサステナビリティに関するシンポジウムⅦについて

堺議長により、9 月 7 日に開催された標記のシンポジウムの参加者数(フォーラムのメンバーは含まず)は 110～115 名であったことが報告された。

③最新の情報について

④サステナビリティフォーラムの今後の活動について

堺議長より、資料・フォーラム 36-6 に基づき、サステナビリティフォーラムの今後の活動について議論する必要があることについて説明があった。その後、各メンバーより、「フォーラムメンバーが各団体の中でどのような展開を推進しているか」や「フォーラムを今後、継続するとすれば何を目標に活動すべきか」などを含め、業界の状況について説明があった。

⑤その他

通算第 35 回(2018 年 6 月 27 日開催)フォーラムにおいて通算第 36 回は「各委員は「フォーラムの第 2 ステージにおいて、今後、各業界はどういう方向に展開していくべきか」に関するレポートを提出する」こととしていたが、今回、提出されなかったため、次回(第 37 回)のフォーラムで提出することとした。

(3) 第 37 回サステナビリティフォーラム委員会 2018 年 11 月 12 日

議題とその概要を下記に示す。

①前回議事録確認

②コンクリートサステナビリティに関するシンポジウムⅧについて

③サステナビリティフォーラムの今後の活動について

前回に続き、各業界より、サステナビリティ活動の展開状況について資料・フォーラム 37-1 及び 37-2 に基づき説明と質疑があり、フォーラムの今後の活動についても以下の議論が行われた。また、これらは、最終的にはフォーラムとしてまとめ、外部に発信することを考える。(JCD 分のみ記載)

< 日本コンクリート診断士会(木村委員) >

- ・ 計算例を示す中で運搬のウェイトが高いことが分かった。考え方を具体例と共に示していくことが意識改革につながると思う。
- ・ requirement がない状況下では、エネルギー削減を工夫して儲かる仕組みが無いと進まないだろう。
- ・ 社会貢献を前面に出して仕事の価値を認めてもらう努力も必要である。
- ・ 補修・補強は究極の環境負荷の低減につながることを明示的に示し、この業界の仕事の価値を上げることを考えることも重要である。

(4) 第 38 回サステナビリティフォーラム委員会 2019 年 2 月 4 日

議題とその概要を下記に示す。

①前回議事録確認

②今後のサステナビリティフォーラムの進め方について

- ・ 今後のサステナビリティフォーラムの活動について堺議長他から発言があった。
- ・ 次回以降は、「2020 年度以降の活動をどのように進めるべきか」について検討していく。

③その他

(5) シンポジウム関係

シンポジウムは、下記の2回開催された。

①コンクリートサステナビリティに関するシンポジウムⅦ

開催日：2018 年 9 月 7 日（金）13：00～17：00

開催場所：東京大学・福武ホール

詳細は、JCI の HP 参照。

②コンクリートサステナビリティに関するシンポジウムⅧ

開催日：2019 年 3 月 11 日（月）13:00～17:00

開催場所：東京大学・福武ホール

詳細は、JCIのHP参照。

2. インフラメンテナンス国民会議報告

設立の背景

- インフラは豊かな国民生活、社会経済を支える基盤であり、急速にインフラ老朽化が進む中で施設管理者は限られた予算の中で対応しなければならず、インフラメンテナンスを効率的、効果的に行う体制を確保することが喫緊の課題である。
- 豊かな国民生活を送る上でインフラメンテナンスは、国民一人ひとりにとって重要であることから、インフラメンテナンスに社会全体で取り組むパラダイムの転換が必要である。

目的

- 1.革新的技術の発掘と社会実装
- 2.企業等の連携の促進
- 3.インフラメンテナンスの理念の普及
- 4.インフラメンテナンスへの市民参画の推進

国民会議の性格

産官学民が連携するプラットフォーム



設立の位置付け

- 社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会提言（2015年2月）
「社会資本のメンテナンス情報に関わる3つのミッションとその推進方策」
- 日本再興戦略改訂2015-未来への投資・生産性革命-（2015年6月30日閣議決定）
- 日本再興戦略2016-第4次産業革命に向けて-（2016年6月2日閣議決定）
- 政務官勉強会提言（2016年7月29日）

2018年度の活動報告

- 1) 国土交通省の総合政策室 公共事業企画調整課より送付されるメルマガ（Vol. 35～Vol. 58）を各地区診断士会等へ配信した。
3月8日にはアセットマネジメントシステム実装のための実践研究委員会成果報告会が開催されたが、当会からは参加できなかった。
- 2) 今後の課題
今後フォーラムとして、①革新的技術、②自治体支援、③技術者育成、④市民参画、⑤海外市場展開等のフォーラムが具体的な活動として始動することになるので、当会としてどのフォーラムに参画し、どの程度関わるべきかを検討する必要がある。

以上

報告(3) 理事・監事、幹事一覧

理事・監事および担当について

理事・監事一覧

No.		氏名	所属部会	担当	所属団体名
1	代表理事	林 静雄	-	会長	東京工業大学名誉教授
2	理事	小野 定	-	副会長 兼事務局長	東京コンクリート診断士会(会長)
3	理事	石川 裕夏	-	副会長 (企画支援)	福井県コンクリート診断士会(幹事)
4	理事	竹内 祥一	総務部会	部会長	東海コンクリート診断士会(会長)
5	理事	岡崎 勝信		副部会長	宮崎県コンクリート診断士会(事務局長)
6	理事	原田 隆敏	企画部会	部会長	高知県コンクリート診断士会(会長)
7	理事	森 直生		副部会長	富山県コンクリート診断士会(副会長)
8	理事	井田 豊	財務部会	部会長	島根県コンクリート診断士会(会長)
9	理事	奥村 智洋	技術部会	部会長	鳥取県コンクリート診断士会(会長)
10	理事	奥田 由法		副部会長	NPO 法人石川県コンクリート診断士会(相談役)
11	理事	勇 秀忠		副部会長	(一社)熊本県コンクリート診断士会(理事長)
12	理事	天野 智雄	広報部会	部会長	静岡コンクリート診断士会(副会長)
13	理事	日堂 俊之		副部会長	長野県コンクリート診断士会(会長)
14	理事	米倉 亜州夫	会員部会	部会長	広島県コンクリート診断士会(会長)
15	理事	奈良 裕		副部会長	青森県コンクリート診断士会(会長)
16	理事	竹内 一博		副部会長	NPO 法人大分県コンクリート診断士会(副理事長)
17	理事	小林 信一		副部会長	法人会員(株) 太平洋コンサルタント
18	監事	田畑 雅幸		監事	北海道コンクリート診断士会(副会長)
19	監事	本田 明		監事	新潟県コンクリート診断士会(副会長)
A	部会員	武田 三弘	技術部会	部会員	宮城県コンクリート診断士会 (会長)
B	部会員	澤 嗣郎	財務部会	部会員	岡山県コンクリート診断士会(会長)

幹事および担当について

No.	氏 名	JCD 担当部会	所 属	所属での役職
1	小野 定	理事 副会長 事務局長	(株)シーアンドアールコンサルタント	TCD 会長
2	田澤 雄二郎	総務部会	TCD 役員	TCD 副会長
3	峰松 敏和	企画部会, 技術部会	(有)テクノミネッツ	TCD 技術部会長 千葉ブランチ代表
4	重松 和男	企画部会	TCD 役員	TCD 監査役
5	小林 剛	技術部会	TCD 役員	TCD 監査役
6	磯川 省三	技術部会	TCD 役員	TCD 技術副部会長
7	篠川 俊夫	広報部会	㈱アサノ大成基礎エンジニアリング	TCD 広報部会長
8	降矢 良男	広報部会	(株)日工技研	TCD 広報副部会長
9	天野 智雄	理事 広報部会長	㈱フタバコーケン	静岡診断士会副会長
10	星野 富夫	会員部会	(株)土木管理総合試験所	TCD 会員部会長
11	仲田 昌弘	総務部会	新東産業(株)	TCD 財務部会長
12	木村 克彦	事務局次長	木村技術士事務所	TCD 企画部会長
13	大野 一昭	事務局	日本コンクリート技術 (株)	TCD 事務局長
14	毎田 敏郎	事務局	毎田建設企画	TCD 企画副部会長

- (注) ・2019年7月の事務局名古屋移転に伴い、幹事会メンバーの交代を予定している。
 ・TCD とは東京コンクリート診断士の略

以上